



農協の役員室。今日は油売りと

ママシのほか、オンベが来ている。

油売り「組合長、ワ(五)の出資金

は、番付にするよ何番目べらうだ」

組合長「多いなあ——前頭の上ら

ういな——」

油売り「番付を作るべきだよ。ソ

へバ、出資金がもっと多くなるよ」

ママシ「出資金の多い組合員を、総

会のとぎ特等席に坐わらせるとか」

油売り「それから、出資金の多い

組合員に、議決権とか役員選挙

権を多く与えるとか」

オンベ「それはマエネよ。協同組

合は株式会社と違って、表決権の

平等、という原則があるんだ。一

株一票でなく、一人一票だよ」

油売り「りんごを多く出している

組合員を総会のとぎ一番席に坐わ

せる。それはどうだ」

オンベ「それはいい案だ」

油売り「ところで、新聞やテレビ

などに、人生観とか価値観とか世

界観などという、むずかしい言葉

が出てくるけれども、どういっ

とですバ」

オンベ「むずかしいな——。世界

観とは世の中をどうみるか、とい

うことか。価値観とは何が最も大

事・大切と思つか、ということか。

人生観とは、どう生きるか、とい

うことか。昔、イギリスの皇子様おうじが

王位継承権を捨てて、シン普森

という未亡人と結婚した例もある

な——。人生——カネか、肩書か、

勲章か、自身の幸福か——だな」

農協の前庭に組合員が二人。そ

の立話——

A「〇〇のローソク祭りするとき、

寄付を出さない家の畠にクロホシ

が多く発生したとか——」

B「ウン、それは本当らしいよ」

A「体に悪いからと、家の人達に

タバコをのむな、と言われて……隣

の家ウチさ行って、貰ってのんでいる

人もあるよ。カワイソウダ」

* * *

駄川 柳

このツンボケ 俺の隣でタバコを

(俺が折角やめたのに

協同組合の

原理、原点

一 命いのちは他人の身

明日はあが身

一 結むすい(共同作業組)

一 毛利家の二乗の
子矢

義信

